



## イヌやネコにはへそがあるの

### おっぱいを飲んで育つ動物には、へそがある

イヌやネコは、人間と同じように、お母さんのおなかから、赤ちゃんとして生まれてきます。おへそは、お母さんのおなかの中にいたとき、赤ちゃんが、お母さんの体から栄養をもらうためについていた、管のあとです。

生まれたばかりの赤ちゃんは、この管の切れっぱしを、おなかにくっつけています。生まれたときつけていた、この管の切れっぱしが、ひからびて自然にとれたのが「へそのお」です。あなたの「へそのお」も、大切にしまっておくかもしれませんよ。

### 卵から生まれる動物には、へそはない

鳥や魚などのように、卵から生まれる動物には、へそはありません。卵の中に用意された栄養で育つので、お母さんの体から、栄養をもらうための管はいらないのです。

### 変わりものもいる

オーストラリアにしかないカモノハシは、卵で生まれますが、お母さんのおっぱいで大きくなります。おっぱいといっても、お母さんのおなかに汗のようににじみ出るものを、なめるのです。動物の進化で考えると、カモノハシは、卵を産む鳥の仲間と、進化が進んだ、ほ乳動物の仲間との中間にいるといえます。動物を分類するときは、カモノハシは、ほ乳動物に入ります。

ぎゃくに、サメやマムシの仲間には、お母さんのおなかの中で、卵からかえり、外には赤ちゃんサメやマムシのすがたで、生まれてくるものもいます。これは、卵たい生とよばれます。これらには、へそはないはずです。（監修・今泉 忠明）

